

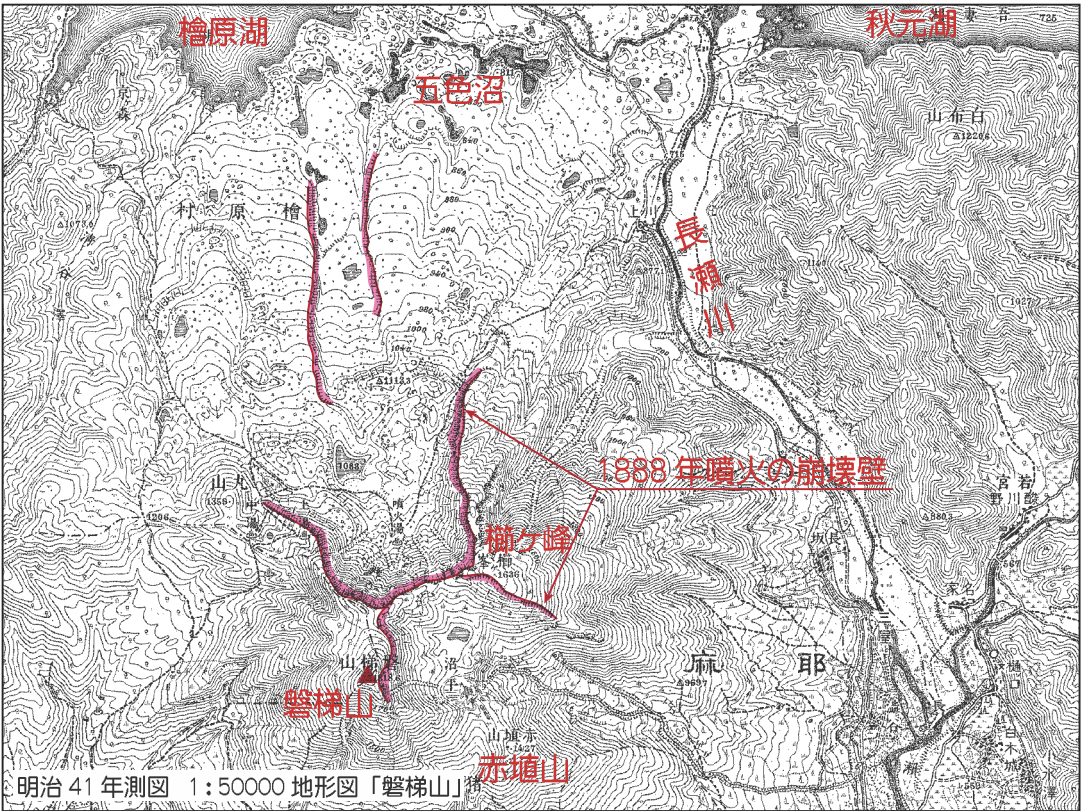
1888 年磐梯山噴火

1888 年（明治 21 年）7 月 15 日、磐梯山は水蒸気爆発とともに山体の大崩壊を起こし、477 名の命が奪われました。鳴動と地震につづいて、7 時 45 分ごろから短時間に 15 ～ 20 回の爆発をおこし、最後は北に向かつて抜け、山頂部のすぐ北側の小磐梯山が崩れて岩屑なだれが発生しました。岩屑なだれは地表を侵食しながら北麓へ流下し、5 村 11 集落を埋め、さらに長瀬川とその支流の谷をせき止め、湖沼群を形成しました。噴火にともなって猛烈な爆風も山麓を襲いました。山頂から南東の琵琶沢沿いに向かった爆風は、赤埴山の斜面にあった大木を列をなすようになぎ倒し、長瀬川対岸の白木城の集落まで被害が及びました。

この噴火では溶岩等の噴出はなく、水蒸気爆発も大規模なものではありませんでした。しかし、山が急峻であったことや過去の火山活動によって山体が不安定になっていたことなどから大崩壊につながったと考えられています。

区分	噴火現象および地形の形成	噴火による地形形成過程
第1段階	マグマの上昇 ・鳴動、地震活動 山腹斜面の亀裂 ・マグマの地下水との接触、膨張、山体の膨張、亀裂	(1) 噴火の始まり 小磐梯噴火流 旧磐原川 ソハラ山 大磐梯
第2段階	第1期の噴火 7:45 ・小磐梯直下で水蒸気爆発による噴火が始まる ・1分間に15～20回の爆発、最後の一発は北に抜ける ・プラスト・岩屑流の発生、北麓の侵食によりアバランシュバレーの一部を形成 ・北麓のソハラ山周辺に岩屑流堆積物が堆積し、主堆積区域を形成 ・噴石・降灰が覆い、30～40分間振動	(2) 山体崩壊・岩屑流の発生 旧磐原川 ソハラ山 大磐梯
第3段階	相対的休止期 8:30 ・山体の一部が残存	(3) 噴火の相対的休止期 岩屑流堆積地 ソハラ山 大磐梯
第4段階	第2期の噴火 or 崩壊 ・9:30頃二番、三番破裂による噴火又は山体の一部の崩壊 ・小磐梯 or 湯桁山又は東側カレデラ壁の一部の地滑り的崩落 ・銅沼台地の形成、東側谷壁の崩壊 ・アバランシュバレー北端部の地滑りブロックと線状裂谷の形成 ・長円形の流れ山、線状凹地、変形域の形成 ・西側山麓斜面の地滑り状滑落崖の形成	(4) 小磐梯の崩壊 銅沼台地 地すべりブロック状 アバランシュバレー
第5段階	16:00頃 ・静穏に戻る	

1:15000 火山地形分類図「磐梯山（1992）」および 1:30000 火山土地条件図「磐梯山（2001）」から作成



■自然災害に国家が本格的に取り組む嚆矢に

多くの被害者を生んだ磐梯山の大崩壊は、明治維新後の近代日本が最初に経験した火山災害でした。当時は、火山学、観測システム、防災対策などの科学的なインフラ基盤が全く整備されておらず、一週間ほど前から前兆と思われる鳴動や遠雷のような音があつたにもかかわらず、ほとんどの住民も磐梯山の噴火が差し迫っているという認識はありませんでした。

噴火直後から、帝国大学理科大学教授の関谷清景をはじめ、農商務省地質局や内務省地理局、工科大学などから、当時としては最高の研究者や技術者が調査にたずさわり、その調査結果や、さらに福島県知事から上申された報告が次々と「官報」に掲載され、今日に残されています。

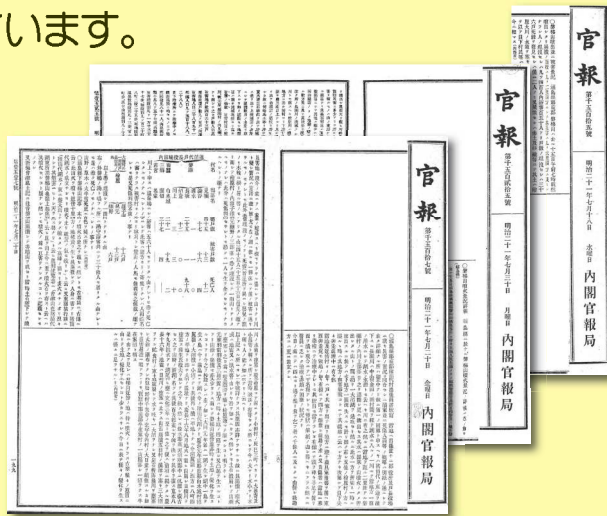
磐梯山の噴火は、災害現象が科学で解明されることへの期待が芽生え、同時に大規模災害の救済や復旧に行政や市民が支援する気運が高まる嚆矢となりました。

磐梯山噴火の状況を刻々と伝える「官報」

1888 年（明治 21 年）7 月 18 日の官報に磐梯山噴火の第一報が掲載されています。

7 月 20 日には、現地に入り惨状を目の当たりにした者の報告として「… 惨状ハ筆紙ノ書シ得ベキニアラズ … 檜原村ノ内雄子澤秋元細野ノ三部落ハ悉ク埋没シテ一面山トナリタルモノナレバ此分ハ死傷判然セザレトモ恐クハ一人モ生ヲ全クセンモノナカルベシトノ趣ナリ … 山野ノ草木ハ大半枯死更ニ青色ヲ残ス所ナシ … 」と伝え、7 月 30 日には福島県から「…（岩屑なだれの）被害村落ハ五箇村、部落ハ十一ナリ… 死者四百七十七人（内浴客三十三人）…」といった詳細が掲載されています。

官報にはこのように内務省や文部省などの報告が数多く残されています。



「磐梯噴火を伝える官報」 国立国会図書館デジタルコレクション

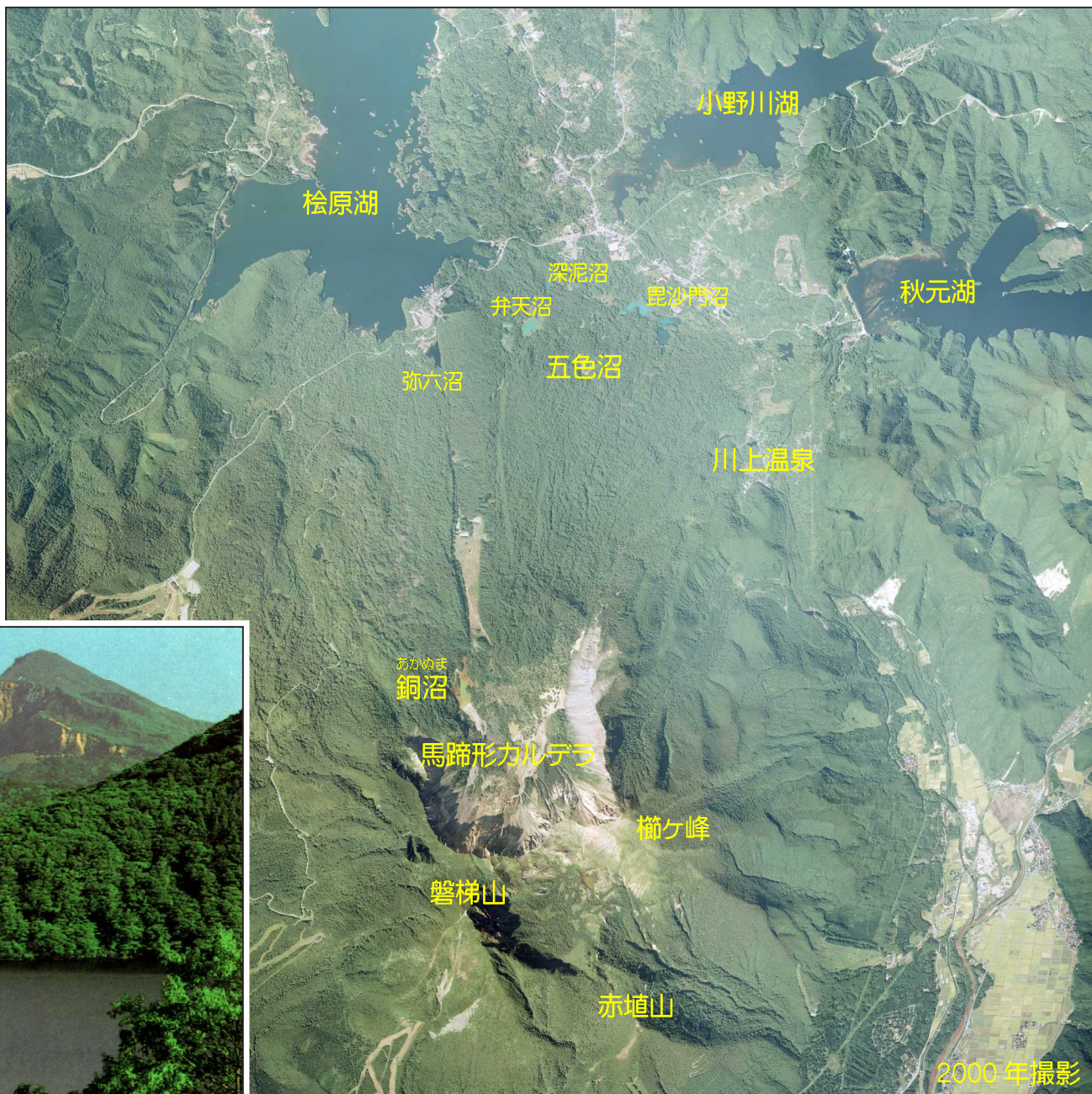
磐梯山

1816m

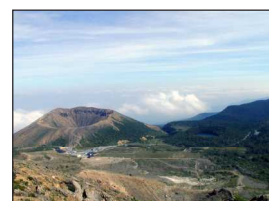
「会津磐梯山は宝の山よ」と民謡にも歌われる磐梯山は、福島県猪苗代湖の北側に位置する活火山です。「会津富士」のいわれともなった南面の穏やかな表情に対して、北麓の裏磐梯は 1888 年（明治 21 年）噴火でできた馬蹄形のカルデラが荒々しい山肌を見せています。松原湖や多くの観光客を魅了する五色沼などの景勝地もこのとき誕生しました。

裏磐梯の五色沼

毘沙門沼や深泥沼など五色沼の大小の湖沼群は、水に含まれる微粒鉱物、水深、水草の繁茂の違いや天候によって、赤、黄緑、乳青色など様々な色合いを見せています。湖沼群をめぐる「自然探勝路」も設けられていて、四季を通じて多くの観光客でにぎわいます。



吾妻山（2035m）と安達太良山（1700m）

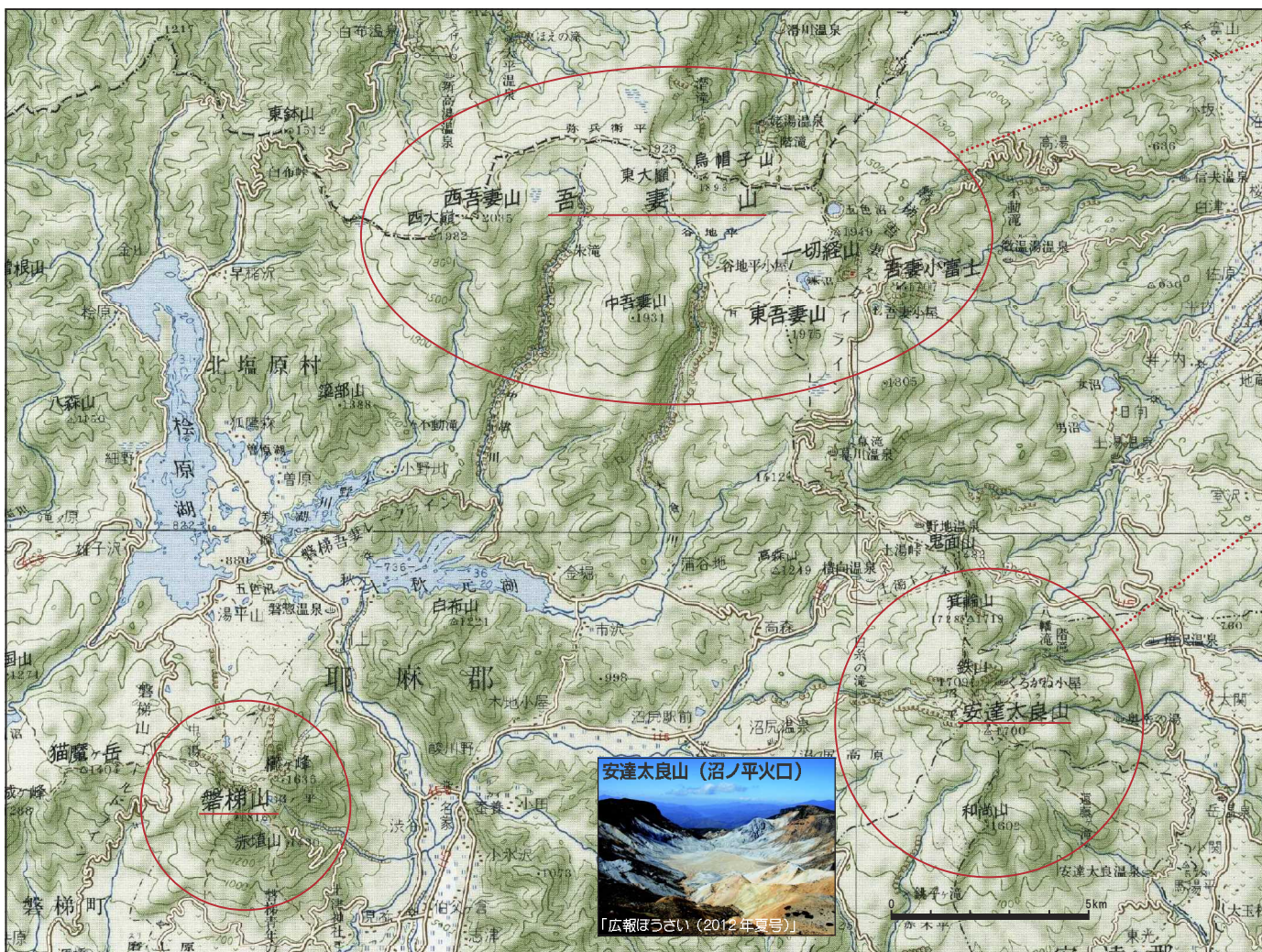


【吾妻山】

東西 25 km、南北 15km に広がる成層火山や単成火山からなる火山群で、一切経山や吾妻小富士のある東吾妻火山群が火山活動の中心となっています。1893 年（明治 26 年）には火口付近を調査していた 2 名が殉職する噴火が発生しています。

【安達太良山】

詩歌で有名な安達太良山は、「優しい山」という印象ですが、1900 年（明治 33 年）、山頂付近の沼ノ平火口で水蒸気爆発が発生し、硫黄精錬所の従業員 72 名が犠牲になりました。1997 年（平成 9 年）には、登山者 4 名が火山性ガスで遭難死亡する事故が起こっています。



位置図



1:15,000 火山地形分類図

磐梯山

「1888年噴火による地形」

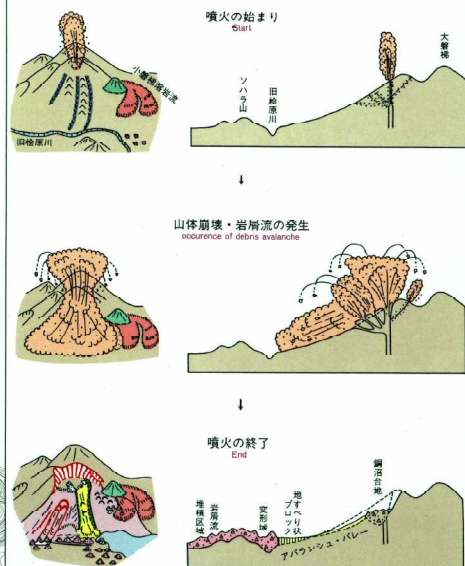
1:15,000 GEOMORPHOLOGICAL MAP

Bandai Volcano

THE 1888 ERUPTION AND DEBRIS AVALANCHE

噴火による地形形成過程

The 1888 landform formation process



1:15,000 火山地形分類図

磐梯山

「1888年噴火による地形」

記号

I 火山活動によって形成された地形

landform by volcanic activity

1888年噴火による地形

landform by the eruption in 1888

- 崩壊壁 (collapse wall)
- 火口内堆積区域 (debris deposit area)
- アバランシュ・バレー区域 (avalanche valley area)
- 山麓堆積区域 (foot slope deposit area)
- 変形域 (transformed area)
- 岩屑流堆積区域 (debris avalanche deposit area)
- 流れ山 (陸域) (hummock (ground area))
- 流れ山 (湖底域) (hummock (lake bottom area))
- 線状裂谷・凹地・しわ (linear fissure)
- 地すべり状滑降面 (scarp like landslide)
- 岩屑流の到達範囲 (reach area of debris avalanche)
- 地形界 (geomorphic boundary)

1888年噴火以前に形成された地形

landform by volcanic activity before the 1888 eruption

- 火口・カルデラ (推定も含) (crater-caldra)
- 山頂平滑斜面 (mountain peak smooth slope)
- 小磐梯溶岩流地形 (Kobandai lava flow area)
- 大磐梯新期溶岩流地形 (young Bandai lava flow area)
- 大磐梯旧期溶岩流地形 (old Bandai lava flow area)
- 赤根山溶岩流地形 (Akane lava flow area)
- 柳ヶ崎溶岩流地形 (Kushigama lava flow area)
- 溶岩円頂丘 (lava dome)

II 火山活動以外の地形

landform by non volcanic processes

- 1954年崩壊・泥流堆積面 (landslide deposit area in 1954)
- 1938年土石流下区域 (debris flow area in 1938)
- 新期火山麓扇状地面等 (young alluvial fan at volcanic foot)
- 古期火山麓扇状地面 (old alluvial fan at volcanic foot)
- 急斜面・崖 (steep slope-cliff)
- 低地・谷底平野 (valley bottom plain)
- 湖沼・河川 (lake-river)

1. 座標系は第四座標系
2. 基図は火山基本図「磐梯山 I・II」及び福島県林業土木課「森林基本図」を使用
3. これらを縮小し、1:15,000基図を作成
4. 秋元湖、小野川湖、曹原湖の湖底域及び陸域の流れ山は、「磐梯火山地形計測作業調査報告書」(国土地理院、1992)より作成
5. 松原湖湖底地形データの一部は、KAWANABE, Houchi, Sora (1992): Survey of the Bandai Volcano 1888 Debris Avalanche Deposit in Lake Hibara, North-east Japan, (29th IGC)から引用
6. 科学技術庁科学技術振興調査による

1:15,000 磐梯山

10色刷 許可なく複製を禁ずる

平成5年3月 著作権所有権発行

© GEOGRAPHICAL SURVEY INSTITUTE, JAPAN, 1993.